

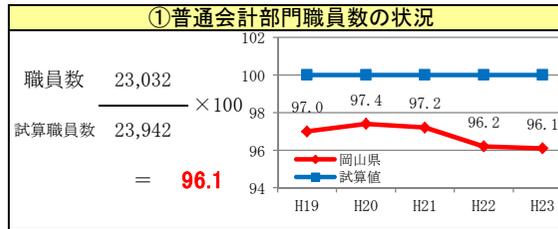
# 参考指標による職員数等の現状・分析シート

## 岡山県

### <基本データ>

団体名	岡山県
人口(H23.3.31)	1,934,057 人
面積(H23.10.1)	7,113 km <sup>2</sup>
全職員数(H23.4.1)	23,160 人
普通会計部門	23,032 人
一般行政部門	3,985 人
教育部門	15,119 人
警察部門	3,928 人
公営企業等会計部門	128 人
財政力指数(H22)	0.51

※教育・警察の各部門については、国の法令等により配置基準が定められています。



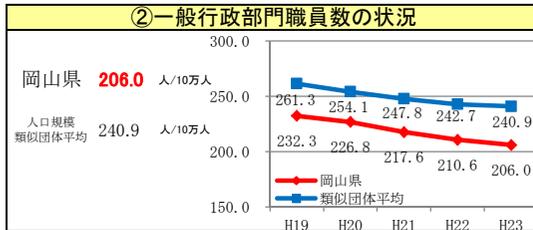
※人口・面積を基にした試算職員数と実際の職員数との比較を示しています。

<三角形の見方>

- ・太線(赤)は岡山県の状況を表しています。
- ・細線(青)は道府県の平均値等を表しています。

### ①普通会計部門職員数の状況

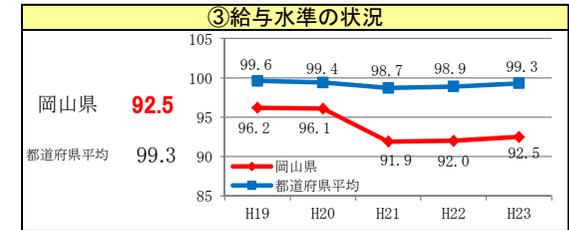
96.1



※人口10万人当たりの職員数を示しています。

206.0 人

### ②一般行政部門職員数の状況



※職員のうち一般行政職に係る給与水準を示しています。

92.5

### ③給与水準の状況

### <分析欄>

#### 【①普通会計職員数の状況】

道府県平均を下回る数値で推移している。知事部局等のほか教育委員会や警察本部等においては、法令等による職員の配置基準に留意しながら、教職員や警察官の適性配置に努めるとともに、事務の合理化等による教育委員会事務局職員や警察官以外の職員の純減、児童生徒数の減少に伴う教職員の純減等を図る。

#### 【②一般行政部門職員数の状況】

類似団体平均を下回る数値で推移している。全国の同規模県(人口及び財政力指数)と比較して、最小となる3,600人体制を目標に、県民サービスへの影響に配慮しながら、事務事業などの見直し、簡素で効率的な組織体制の整備、仕事のやり方の見直しや事務改善などにより、業務量に見合った適正な職員配置に努めた上で職員の純減を図る。

#### 【③給与水準の状況】

平成16年度から講じられている特別条例による平均2.8%の給与カットが、平成21年度から平均7.4%の給与カットとなったため、都道府県平均の99.3と比較しても極めて低く、全国でも最低水準となっている。

#### 【④その他】

一般行政部門(知事部局)では、次のとおり組織再編を実施している。  
 H17.4 9地方振興局を3県民局6支局に再編  
 H21.4 6支局を地域事務所へ再編  
 H21.4 9保健所を5保健所4支所に再編  
 H22.4 本庁組織の再編  
 H22.4 農林水産関係の試験研究機関を集約